



学年だより

町田市立小山田中学校
第1学年 学年だより
第14号
令和7年10月10日

命の授業

～被爆を語り継ぐ会～

9月26日（金）に「命の授業」が行われました。今年度は、長崎市原爆被災者協議会「被爆体験を語り継ぐ永遠の会」の佐藤直子さんに話を来ていただきました。佐藤さんのお父さんは12才の時に長崎で被爆し、自分以外の5人のきょうだい、両親を次々と亡くしたそうです。お父さん本人も、いろいろな病気で入退院を繰り返しながら、その後、語り部として、原爆投下後の人々の様子や、被害の大きさなどを、多くの人たちに伝えてきました。佐藤直子さんは、そのお父さんの活動を、家族・交流証言者として引き継いだそうです。

佐藤さんは、昭和20年8月9日の長崎原爆の日に長崎市の人口の約3分の2の人たちが死傷したこと、熱線・爆風・放射線による甚大な被害のこと、お父さん自身が亡くなつた自分の弟を火葬しなければならなかつたことなど、現在では想像できない悲惨な生活の様子を話してくれました。

日本被団協は、昨年、核兵器のない世界の実現をめざして尽力したことが評価され、ノーベル平和賞を受賞しました。普段の生活では、なかなか知ることができない貴重なお話をでした。戦争が終わって80年以上たち、実際に何があったかを知らない人が多くなりました。この機会に、平和への意識をあらためてもっていきましょう。



＜生徒の感想から＞

・紹介してくださった紙芝居は、読み方に気持ちがこめられていて、戦争の苦しさや辛さが伝わってきました。自分の弟が誰だかわからないほど黒こげになり、川に浮かんでいたと考えたらとても苦しくなりました。

・原爆が投下された時の温度が、鉄などが溶けて蒸発するくらいだったというのが、とても衝撃的でした。紙芝居を聞いて戦争はやってはいけないと心に刻まれました。私も小さな活動からでもやっていきたいと思いました。

・戦争の恐ろしさを改めて知ることができました。今も世界では戦争が起こっていて、苦しんでいる人がたくさんいるのに、私は何も知らないでいたと思うと、本当に悲しいし、悔しく、情けなくなりました。何か私ができることがあればやりたいと思いました。

・被爆者の活動について詳しく知ったのは初めてです。直子さんのお父さんが原爆で亡くなった方々を思って、語り部をしたり、花壇に花を植えたりする活動をしたのは、とても良いことだと思います。その思いが今の人たちに受け継がれていることが、すばらしいと思いました。

合唱練習が始まりました

～心を一つに～

10月27日（月）の合唱祭に向けての練習が始まりました。実行委員やパートリーダー、指揮者・伴奏者の人たちを中心に練習がすすめられています。模造紙の歌詞カード作りやめくりプログラムの作成など、みんな多くの時間を使って準備をしてくれています。

まだ歌詞を覚えていなかったり、音程がとれていなかったりするところもあると思います。本番まであと約2週間、集中して練習しましょう。そして、クラス全員が心を一つにして、いい合唱を作っていくください。



＜来週から2週間の予定＞ ※「特」の時間は合唱練習が行われます

	曜	1	2	3	4	給 9	5	6	行 事 予 定
13日	月								スポーツの日
14日	火	○	○	リハ	○	○	○	○	生徒会朝礼 学年リハーサル③
15日	水	○	○	○	○	○	特	朝門	一斉専門委員会
16日	木	○	○	○	○	○	○	特	
17日	金	○	○	○	○	○	○	総	進路説明会（3）
20日	月	特	○	○	○	○	○	○	朝礼
21日	火	○	○	○	○	○	○	○	
22日	水	リハ	リハ	○	○	○	特	/	1年リハーサル①② 職員会議
23日	木	○	○	○	○	○	○	道	連合体育大会
24日	金	○	○	○	○	○	○	特	漢字検定
25日	土	特	特	特	学	×	/	/	学校公開日 前日準備 給食なし

